わかりやすく解説

花巻市の財政

（平成２４年度当初予算から）

花巻市の財政状況を
わかりやすく
解説します。

もくじ

その１　市民生活を支える財政・・・・・・・・・・１
その２　平成24年度予算をもとに
花巻市の財政状況を見てみよう
①　花巻市のお財布はどうなってるの？　２
②　市の歳入はどんな状況？・・・・・・３
③　市の歳出はどんな状況？・・・・・・４
④　家計簿に例えてみると・・・・・・・５

花　巻　市

その1　市民生活を支える財政

財政は私たちの生活を支える重要な役割をはたしています

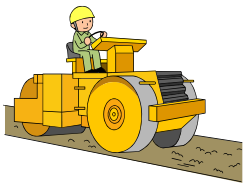
市民の皆様から納めていただく税金や使用料、国・県からの補助金、交付金など、また、銀行等からの借入金（市債）などの収入を、どんな目的（福祉や教育、都市整備など）に使うかをきめることを「財政」といいます。

それを数値で示したものが「予算」であり、また計画した予算をどのように執行したか、その実績と成果を明らかにしたものが「決算」です。

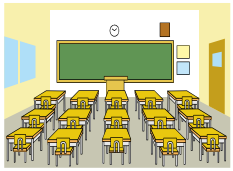
- 財源としての収入見込
- 実施規模の見込

→ 財政的な計画 ↓ 予　算 → 実　施

みなさんの生活のなかのさまざまな行政サービス



道路の建設・維持管理

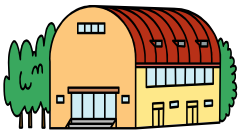


小・中学校の維持管理

高齢者への福祉サービス

保育園での保育サービス

消防・救急活動



体育館・図書館の運営

このようなたくさんの行政サービスを行っていく上で必要となるお金をやり繰りしているのが財政であり、市民生活を支えるとても重要な役割を果たしています。家計に例えれば、給料などで得た収入を、食事にどれくらい使おうか、子どもの教育にいくらかけようかなど、その使い道を考えることと同じです。

日常生活に関わりの深い主な行政サービス

- 防災・安全対策
- 道路・公園の整備
- 学校の維持管理
- 消防・救急活動
- ごみと資源の収集
- 検診や予防接種などの健康事業
- 高齢者等への福祉サービス
- 広報紙などによる広報活動
- スポーツ・文化施設の利用

など

その2　平成24年度予算をもとに花巻市の財政状況を見てみよう

1 花巻市のお財布はどうなってるの？

花巻市の予算は、一般会計と特別会計の２種類の会計があります。
お財布に例えれば、２つのお財布があって、それぞれにお金を出し入れします。
また、上水道事業については、企業会計として別に管理しています。

一般会計
435億3,521万円

一番目の大きいお財布が「一般会計」で

一般会計とは、教育・福祉や道路・公園の整備など生活に深くかかわる事業を行うための会計です。
家計に例えると生活費に使うお金を出し入れするお財布です。
平成24年度の当初予算の額は、435億3,521万円です。

二番目のお財布が「特別会計」です。

特別会計とは、特定の目的のための会計予算で、国民健康保険税など特定の収入があり、一般会計から切り離して、その収入・支出を経理する会計のことです。
花巻市では、7の特別会計があります。

特別会計
259億7,654万円

- 国民健康保険・・・　96億　623万円
- 後期高齢者医療・・・17億1,416万円
- 介護保険・・・・・　88億5,523万円
- 老人保健施設事業・・　3億5,981万円
- 公設地方卸売市場事業・・・・・・5,881万円
- 下水道事業・・・・・・・・・　39億3,652万円
- 農業集落排水等汚水処理事業　14億4,578万円

一般会計
435億3,521万円

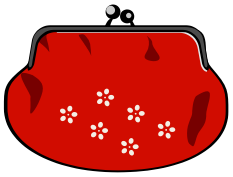
＋

特別会計
259億7,654万円

＝

全会計予算額
695億1,175万円

参考：上水道事業は「企業会計」です。



企業会計

● 収益的収支	収入 支出	23億6,396万円 23億2,529万円	水道料金を主な財源とし、施設の維持管理や借入金利息返済などを行います。
● 資本的収支	収入 支出	15億1,645万円 21億2,934万円	企業債などを主な財源とし、施設の建設や借入金元金返済などを行います。

2 市の歳入（入ってくるお金）はどんな状況ですか？

　では、皆さんに一番身近で、一番お金の出入りが大きい一般会計のお財布を例に、平成24年度の歳入（入ってくるお金）がどのようになっているのか見てみましょう。

花巻市の歳入（入ってくるお金）には、自主財源と依存財源の２種類の性格があります。

自主財源
132億9,803万円
（30.5%）

　皆さんに納めていただく市税や、スポーツ施設などの施設を利用する時に納めていただく使用料、住民票や印鑑証明を取るときにいただく手数料など、花巻市が自主的に収入することができるお金のことを言います。

依存財源
302億3,718万円
（69.5%）

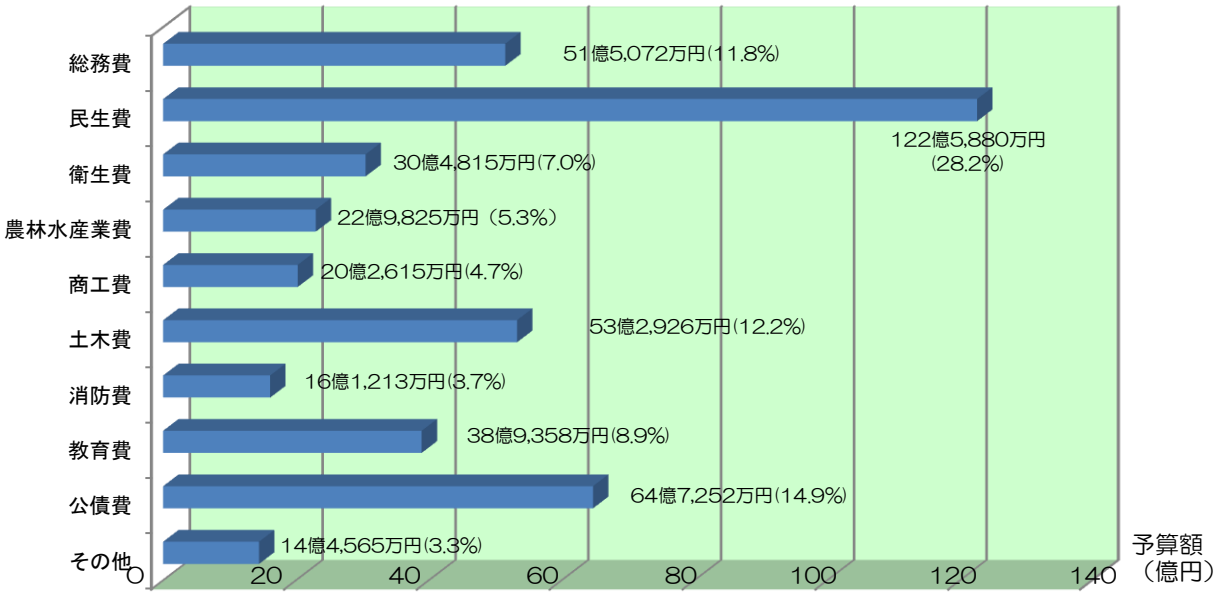
　依存財源とは、道路や施設を作るときに国からもらう国庫支出金や県支出金、同じように道路や施設を作るときに借りる市債、国や県から一定の基準でもらう交付金や譲与税がこれにあたります。依存財源は、市の都合で増やしたり減らしたりできないお金です。また、使い道が決められているお金も入っています。

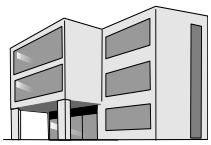
	項　　目	金　　額	割　合	内　　容
自主財源	市税	102億7,767万円	23.6%	住民税や固定資産税など
	使用料及び手数料	8億2,218万円	1.9%	スポーツ施設の使用料など
	分担金及び負担金	6億2,107万円	1.4%	保育料など
	財産収入	5,734万円	0.1%	建物貸付料など
	その他	15億1,977万円	3.5%	繰入金、寄附金など
	計	132億9,803万円	30.5%	
依存財源	地方交付税	162億1,000万円	37.2%	国から一定の基準で交付
	国庫支出金	47億3,064万円	10.9%	国から必要に応じて交付
	県支出金	35億5,824万円	8.2%	県から必要に応じて交付
	市債	36億4,820万円	8.4%	金融機関等からの借入
	地方譲与税	9億4,040万円	2.2%	国から一定の基準で譲与
	その他交付金	11億4,970万円	2.6%	国、県から一定の基準で交付
	計	302億3,718万円	69.5%	
合　　計		435億3,521万円	100.0%	

③ 市の歳出（出て行くお金）はどんな状況ですか？

入ってきたお金は、どのように使われているのでしょう？今度は歳出（出て行くお金）について見てみましょう。
市では、道路や施設を作ったり、火災や救急に備えて消防車や救急車を用意したり、子育てや福祉にお金を使ったり、さまざまな事業にお金を使っています。
では、目的別に何にお金を使っているのでしょう？簡単に説明すると次のようになります。

目的別お金の使い方





総務費
市の庁舎の運営や、地域づくり、広報、税金や住民票などの仕事に使われます。防災のためのお金も含まれます。

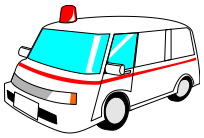
民生費
子育てに関する仕事や保育園の運営費、小児医療、高齢者や障がい者などの福祉に使われます。

衛生費
ごみ集めをしたり処理したりする経費や、より健康になってもらうための仕事に使われます。

農林水産業費
農業や林業などで働いている人を応援したり、森林を守るために使われます。

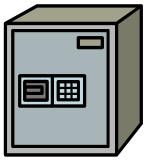
商工費
商店街や中小企業の応援や、観光客の誘致や、観光施設を管理したりする仕事に使われます。

土木費
道路や橋を整備したり、公園を作ったり管理するお金や、市営住宅を管理するのに使われます。

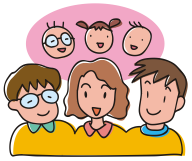


消防費
消防車や救急車を管理したり、買ったりするお金や消防署の整備、消防団活動に使われます。

教育費
小学校や中学校の校舎、公民館や図書館、文化施設やスポーツ施設の整備や運営、幼稚園の施設管理に使われます。



公債費
大きな施設や道路を作る時に金融機関等からお金を借ります。それを返していくのに使われます。



その他
議会運営のための「議会費」や働いている人や仕事を探している人を応援する「労働費」などに使われます。

④ 家計簿に例えてみると

花巻市の１年間の収入と支出を家計簿に当てはめてみましょう。
家計と市の会計では、お金の使い道も規模も違うので、単純に比べられませんが、平成24年度一般会計予算を市民１人当たりの家計簿に例えてみると…

花巻市の予算

収入	
① 市税	102億7,767万円
② 繰入金	5,637万円
③ 諸収入	14億6,339万円
④ 使用料及び手数料	8億2,219万円
⑤ 地方交付税、国・県支出金	244億9,887万円
⑥ 市債	36億4,820万円
⑦ その他	27億6,852万円
収入の合計	**435億3,521万円**

支出	
① 人件費	82億1,843万円
② 繰出金	50億1,822万円
③ 物件費	66億4,551万円
④ 公債費	64億7,217万円
⑤ 扶助費	74億5,008万円
⑥ 建設費	38億3,931万円
⑦ 積立金	4億1,853万円
⑧ その他	54億7,296万円
支出の合計	**435億3,521万円**

１人当たりの家計簿に例えると…

収入	
① 給料	10万1,066円
② 貯金の引き出し	554円
③ 貯金の利子、貸付金など	1万4,390円
④ 貸地収入	8,085円
⑤ 実家からの援助	24万　910円
⑥ 銀行からの借り入れ	3万5,875円
⑦ その他	2万7,224円
収入の合計	**42万8,104円**

支出	
① 食　費	8万　816円
② 仕送り	4万9,347円
③ 家具などの購入	6万5,349円
④ 車などのローンの返済	6万3,644円
⑤ 医療費	7万3,260円
⑥ 家のリフォーム	3万7,754円
⑦ 積み立て	4,116円
⑧ その他	5万3,818円
支出の合計	**42万8,104円**

※家計簿の例えは、平成24年3月末日の人口（10万1,693人）で計算しています。
※例えの内容は、予算の収入①～⑦（朱色）・支出①～⑧（青色）は、家計簿の収入①～⑦（朱色）・支出①～⑧（青色）になります。